

「市長と語ろう」に参加してきました!

8/22(木)「市長と語ろう私たちの町づくり」に八木中を代表して生徒会本部(石橋)が参加しました。それぞれの学校で考えてきた意見を市長さんや教育長さん達に聞いていただきました。小学生や中学生の意見を聞いてそれぞれ学校でどんなことをやっていたのか、これからの目標を知り、南丹市を私達で盛り上げていくことを実感しました。この糸馬会を通して、私達八木中学生と他の学校の人達とで、南丹市を盛り上げていきたいと思います。

発表内容

私たち八木中学校は、「一人一人が輝く八木中学校」を目標に、八木町のみなさんとともに、様々な取り組みを行ってきました。昨年度同様、挨拶運動を今後も継続して行っています。他にも地域清掃や花火大会後の清掃ボランティア、地域道德、赤ちゃん広場など、地域の人と交流する活動にも取り組んでいます。地域と関わる中で、学んだことについて、今日紹介するのは地域清掃についてです。地域清掃では、事前にたくさんの人に呼びかけました。それによって、多くの地域の方々が協力してくださり、清掃活動しながら挨拶をすることを通していろんな人とつながることができました。2年前先輩方は、挨拶を呼びかけるステッカーを八木町全体に配布しました。その際、普段関わる機会の少ない地域の方々から、「頑張ってるね」「ありがとう」など、声をかけて頂き、とてもやりがいを感じたと聞いています。当時、小学生だった私は、早く八木中生として、このような取り組みをしたいと思いました。そして、より地域の方々とのつながりを深めたいと思い、昨年度からこの地域清掃に取り組んでいます。また、コロナ禍でできなかった花火大会後の清掃ボランティアにも参加しました。これらの活動を通し、生徒だけでなく、地域の方々と協力して何かに取り組むことで、人と関わることの大切さを学びました。八木町に住む一人として、地域を大切に思う気持ちがより一層芽生えたと思います。

そこで私たちは、南丹市のみなさんに人と人がつながり、安心して過ごせる住みやすい地域であることをこれからも大切にしたいと考えています。地域清掃を行うことで、いつも以上に自分たちが過ごしている地域がきれいになり、自分たちの手で街をきれいにする意識を高めることができます。そして、自分にできることをすることや助け合うことが当たり前という雰囲気にもつながって、より住み心地のいい町になります。また、地域の方々とともに様々な活動を行うことで、コミュニケーションをとる機会が増えます。つながりが深まることで、お互いを知り、より安心して過ごせる町になります。このことが、八木町だけでなく、人と人がつながり、安心して過ごせる住みやすい南丹市へと広げることができれば、より南丹市に住みたいと思う人が今以上に増えるのではないのでしょうか。

私たちが八木中学生としてやっていきたいことは、学習や部活動、行事や生徒会活動などに、一生懸命取り組み学校を盛り上げていくことです。八木中学校が元気になれば、そのパワーが地域にも広がり、さらに地域も元気になります。これからも中学生としてやるべきことをしっかりとやっていきます。また、私たちもこれらの取り組みを継続して行い、地域とのつながりを大切にするのが、いずれ学校の伝統として残るようにしたいと考えています。地域清掃では、昨年の反省を生かし、今年度は清掃エリアの見直し・拡大もしていきたいと思っています。私たちが行っている、地域と共に行う活動を、八木中学校から八木町、そして南丹市へと発信することで、南丹市全体でよりよい町づくりをすることができればいいと思います。一人一人が輝き、人と人がつながり、安心して過ごせる住みやすい南丹市をともにつくっていきましょう。これで発表を終わります。